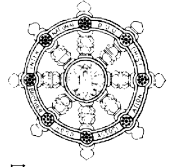


日本寺ニュースレター



Nipponji news letter

2026年1月号
(公財) 国際仏教興隆協会



新年あけましておめでとうございます

印度山日本寺竺主
東大寺長老

北河原 公敬

皆様におかれましてはお健やかで新たな年をお迎えのことと存じます。

平素より仏教界はもとより各方面の皆様から、印度山日本寺にご支援、ご援助を賜りまして誠にありがとうございます。

さて昨年の12月6日、開山52年の日本寺本堂で、同行者の皆様と成道会を厳修してまいりました。御本尊の釈迦如来像の御前に座しますと、近年世界各地で起きている戦争や紛争が一日でも早く終結して欲しいと祈らずにはられない思いでした。

東大寺の御本尊盧舎那大仏の造願を發願された聖武天皇が、その詔で「動植咸(ことごと)く榮えんことを欲す」と願われていたことを、私たちは改めて考えるべきでしょう。

動植咸く榮えんとは、私たち衆生や、自然界に居る動物や植物あらゆるものが幸せで平和な、そして繁栄できる社会を実現したいとの表明でありました。

特に最近の世の中を思いますとき、この聖武天皇の御心というものを大切にしていけることが、一層重要になってきているといえるのではないのでしょうか。

終わりに、新年に当たり皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

合掌

成道会・お遊戯会開催

成道会

2025年12月6日、北河原公敬日本寺竺主を導師に、清原實夏師（融通念佛宗大念寺）、正本光生日本寺管理局長、番地章夫元駐在僧、杉原遥平日本寺駐在僧が出仕しての成道会が厳修されました。成道会には日本から北河原竺主と共にご来山された25名の参列者が集いました。表白では、お釈迦さまのご成道を偲びつつ、世界平和そして日本寺の発展を願われ、読経が本堂に響き渡りました。法要中に参拝に訪れたインド人学生団体が、合掌をしながら法要を眺める姿も見られました。

北河原竺主は2016年の印度山日本寺竺主にご就任以来、コロナ禍を除き毎年参拝団の皆さまと日本寺で法要をお勤めくださっており、大変ありがたいこととございます。



菩提樹学園創立記念お遊戯会

成道会に先立ち、講堂では菩提樹学園創立47周年お遊戯会が開催されました。

お遊戯会は、毎年10月の運動会と同様に園児の家族が観覧に訪れ、会場を埋め尽くします。お遊戯会は、ご本尊への礼拝から始まり、主任のソバー先生の挨拶、北河原竺主からは、これまでの練習への労いと披露されるダンス・演劇への期待、そして毎日元気でいられるようにと激励のお言葉をいただきました。



「去年も皆さんとお会いしたけど、覚えてくれてるかな」と園児に向かって優しく問いかけてくださる北河原竺主

100名を超える観客の前でクラスごとに年少組はシネマダンス、年長組は演劇とシネマダンスを堂々と披露しました。今年の演劇のタイトルは『Social Media』。勉強を教えてほしい娘を、SNSに夢中の母親と仕事で多忙な父親はかまっていられず、娘は母から渡されたスマホを使いすぎ、両親の外出中に卒倒。医師からSNSの中毒性を教えられ、子どもともっと向き合い、一緒に過ごすように注意された両親は、心を入れ替え、スマホ任せをやめて家族の時間を大切にする事を決意する。という内容で、観覧者に過度なSNSの使用に警鐘を鳴らし、SNSと上手に付き合うことを訴えかけるものでした。

また、プログラム終了後、参拝団ご一行から園児たちにプレゼントの贈呈があり、園児達は満面の笑顔でプレゼントを受け取っていました。



本番に向けて教室での練習

お遊戯会の園児たちのダンスや演劇の動画をHPに掲載しています



年頭法話

(公財)国際仏教興隆協会 理事長
知恩院副門跡 大樹寺貫主

中村康雅

瑞気満つる正月、古えの宮中では邪気を払い一年の無病息災をもたらす白馬(あおうま)の到来を待ったと言います。

馬は、私たちの暮らしと密接に関わり、塞翁が馬の故事や世界各地の民話にも多く登場しています。日本においては、馬形埴輪や絵馬、盆の精霊馬のように神仏に願いを運ぶ、天翔ける「天馬」の側面を持っています。

一方では「馬が合わない」という表現があり、気性の荒い馬もあります。仏教ではその側面を私たちの心の喩えに用いて「意馬」と呼んでいます。私たちの心は放っておけば「惑(煩惱)」に支配された荒れ馬の如き存在です。その心は悪しき「業」を重ねさせ、自他を傷つけて「苦」に沈め、失意のうちに更なる「惑」を生んでいきます。

そんな「惑業苦」が繰り返される人生から抜け出

すべく、仏さまは「意馬の手綱をにぎれ」と諭されました。その為に、私たちが先ず為すべきことは、荒れ馬の如き私の心と向き合い、仏道を歩まんと願うことです。その「願」あればこそ、荒れ馬の如き心のままにも善なる「行」を積み重ね、時々幸福なる「楽」を味わい、良縁の中に「願」を高めていくことが叶うのです。

「願行楽」を積み上げる暮らしによって、衷心に「願」が安置された時、私たちの心は「意馬」から「天馬」へと姿を変え、涅槃の「楽」まで導く存在となります。

午年の始まりに、私たちの「意馬」の手綱を引き締め、皆さまの「願」にみ仏のご加護がありますことをご祈願申し上げます。



合掌

事務局より新年のご挨拶

(公財)国際仏教興隆協会事務総長 逸見道郎

事務局は竺主猊下、中村理事長のお心を体して、具体的に体现するよう努めさせていただくことが使命であります。

去年は戦後80年であり、宗教界をはじめ、各界は様々な思いや願いを語られた一年でありました。当協会も中村理事長が、ジャヤワルダナ、スリランカ(当時セイロン)第2代大統領への忘れてはならない御恩とその経緯を年頭でお示しになられました。

1951年9月、サンフランシスコ講和会議で、日本の主権が回復し、占領が終了いたしました。各国が日本に対して厳しい見解を述べる中、スリランカ(当時セイロン)代表のジャヤワルダナ大統領は、会議で講演をされ、憎しみの連鎖がさらなる争いに成ることを戒められたのです。それは、お釈迦様の教えである法句経の一節「憎悪は憎悪によって止むことはなく、慈愛によって止む」を引用され、日本に対する賠償請求を放棄される演説でありました。

今、戦後80年を経て、中村理事長より仏教徒としてのジャヤワルダナ大統領の御姿勢をお知らせいた

だき、あらためて重く受け止めた次第であります。

当協会の運営する日本寺は、ダンマパダ法句経を説かれたお釈迦様お悟りの地にある国際寺院であります。今、世界各地で紛争が再燃し、戦禍により多くの命が奪われています。私達はあらためてお釈迦様のお心に照らして歩みを進めたく思います。

当協会の歴史と経緯を常に念頭に置き、その重責にお応えできるよう、思いを新たに致したことであります。新たな出発の年です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌



日本寺駐在僧募集中

現在、2027年秋以降に赴任が可能な日本寺駐在僧を募集しております。詳細はHPをご覧ください。



園舎・講堂大規模補修

この度、老朽化が進む菩提樹学園園舎、日本寺講堂の大規模補修を行いました。

菩提樹学園

落成から 47 年を迎え、雨漏りや壁のひび割れなど補修工事を実施しました。

子どもたちがより安全で快適に過ごせる環境を整えることを第一に、屋上の防水加工や外壁の補修、さらに教室内のペンキ塗り替えなどを行いました。



補修工事は、6 月の夏休み、10 月後半のヒンドゥー教の祭事・ディワリの休暇中の 2 期に渡って実施。工期の延長で、休暇を数日延長せざるをえませんでした。概ね授業カリキュラムを妨げることなく施行されました。

特に教室は、壁や天井の塗装を全面的に見直した



ことで、これまでよりもずっと明るく清潔な雰囲気になりました。新しくなった空間に子どもたちも興味津々で、登園初日教室を見渡しながらか嬉しそうな表情をする園児の様子が見られました。

今後も園児達が安全で楽しい菩提樹学園での生活を送れるよう、環境整備に努めてまいります。



日本寺講堂

内外からの仏教学者による研究発表の場「国際仏教徒結集」や、毎年菩提樹学園創立記念日の 12 月に開催するお遊戯会に使用している講堂は 1978 年落成。剥離した天井パネルの張替を 10 月 10 日から 1 ヶ月かけて行いました。北河原竺主参拝団にはニューアルした講堂でお遊戯会を観覧いただくことができました。



駐在僧赴任のご挨拶

杉原遥平(臨済宗建長寺派)

駐在期間:2025年11月29日～2026年11月(予定)



この度、印度山日本寺の駐在僧としての任を拝受いたしました、臨済宗建長寺派の杉原遥平(遥円)と申します。

まずは、私の赴任に際しご尽力いただきました、国際仏教興隆協会の皆様、宗門の皆様、そして日頃より日本寺を支えてくださっている多くの皆様に心より御礼申し上げます。

釈尊成道の地であるブッダガヤに実際に身をおけることは仏教徒として非常に光栄なことであります。

このような御縁を賜れたことに感謝し、この大恩に報いられるよう微力ではございますが、協会の設立目的である現地での宗教福祉事業、さらには各国より様々な仏教徒が集まるブッダガヤの地において日本仏教のみならず世界の仏教界全体の興隆の一助となれるよう、ご尽力させていただきたい所存です。

諸先輩方より僧侶として修行が終わることはないと思っております。現地での日々の業務、生活を丸ごと修行と捉え日本寺の護持興隆に努めさせていただきたいと思っております。

未熟者ではございますが、この先も皆様からの篤い御法愛を賜れますよう何卒宜しくお願い申し上げます。合掌

日本寺ジェネラルマネージャー逝去

2025年10月20日、日本寺ジェネラルマネージャーのロプサン ヌンドゥップ氏(Lobsang Nudub)が逝去しました(享年70歳)。

訃報を受け、葬儀への協会関係者の参列は叶いませんでしたが、逸見事務総長が現地に赴き11月13日全スタッフ参列の元、法要を厳修しました。

ロプサン氏と日本寺とのご縁は1973年の日本寺本堂落慶以前のこと。当時チベット寺(ゲルク派)の修行僧だったロプサン氏は、協会役員来訪時の通訳や駐在僧とスタッフとのコミュニケーション時の通訳を勤めたことに始まります。その後、師僧の遷化により還俗したことを機縁に日本寺の職員となりました。日本国内での事務や日本の風習を学ぶために日本に半年滞在し、日本語も学びました。

職員という枠をはるかに超え、参拝者の応対や周辺寺院との折衝など、今日に至るまで尽力いただきました。困難な局面でも、常に冷静に対処する仕事

への誠実さ、スタッフへの思いやり、視野の広さ、その人柄でブッダガヤの町でも多くの人々から信望を集める存在でした。

47年という年月は、単なる勤続年数ではなく、「生涯を懸けて日本寺を守りたい」という強い信念の積み重ねであったと、私たちは深く実感しています。

ここに改めて深い感謝の意を表し、ロプサンの歩まれた道を胸に刻み、私たちはこれからも前へ進んでまいります。合掌



2023年12月菩提樹学園お遊戯会で通訳を勤めるロプサン氏(右から2番目)

日本寺ジェネラルマネージャー就任ご挨拶

トゥンドゥップ ツェリング(Tundup Tsering)



この度、故ロプサン氏の後任として日本寺ジェネラルマネージャーを拝命いたしました、トゥンドゥップ ツェリングと申します。

私はインド北部ラダック州の出身です。チベット仏教を信仰しています。幼いころから仏教に深い関心を持ってきました。親類が世界仏教徒連盟(WF B)の役員を勤めていた関係で、日本の仏教関係の方とのご縁をいただき、中学卒業後日本の高校へ進学しました。専門学校を

卒業して、東京のホテルで12年勤めました。

日本に約18年間滞在し、その間に日本の文化やお茶のお稽古、寺院のさまざまな行事を体験出来ました。

仏教の聖地であるブッダガヤに身を置くことができること、そして日本寺という日本仏教を代表するお寺をお守りする使命を賜ったことは、仏教徒の私にとって大変光栄なことであります。未熟者ではございますが、諸先輩方が築き上げられた日本寺を更に発展できるように精一杯努めてまいります。

ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。日本寺にご参拝の際はお気軽にお声がけください。合掌

ご志納者ご芳名 皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。敬称略(2025. 4/1～2025. 11/30まで)

……………100万円以上……………	
一般寄付	
東京都	
目黒区	祐天寺
江東区	長専院
江東区	(一財)太田慈光会
武蔵野市	光専寺
奈良県	
奈良市	神奈我良
菩提樹学園	
港区	(公社)日本 仏教保育協会

護持会費

……………10万円以上……………

岩手県	
盛岡市	櫻井澄男
塩竈市	東園寺
東京都	
千代田区	神田寺
港区	妙定院
港区	梅窓院
台東区	末廣久美
台東区	法清寺
文京区	傳通院
文京区	光圓寺
杉並区	立正佼成会
八王子市	金剛院
福井県	
永平寺	南澤道人
山梨県	
身延町	身延山久遠寺
長野県	
駒ヶ根市	安楽寺
静岡県	
静岡市	實相寺
愛知県	
名古屋市	藤田 澈
京都府	
京都市	妙法院
京都市	永観堂禪林寺
大阪府	
大阪市	念法真教
奈良県	
奈良市	圓照寺
奈良市	東大寺
香芝市	南 幸治
吉野町	総本山金峯山寺
……………	
北海道	
釧路市	藤井敬亮
岩手県	
花巻市	廣隆寺
宮城県	
仙台市	中島壯治
仙台市	清野幸雄
仙台市	臼井行生
福島県	
須賀川市	長祿寺

いわき市	小野道雄
茨城県	
取手市	古屋吉雄
取手市	本願寺
常陸大宮市	誕生寺
栃木県	
宇都宮市	橋本榮治
日光市	桑門秀光
栃木市	近龍寺
三川町	鯨 照子
群馬県	
	晴方会いまい ウイメンズクリニック
前橋市	群馬県仏教連合会
前橋市	金剛寺
太田市	長念寺
桐生市	祥雲寺
桐生市	淨運寺
埼玉県	
さいたま市	河野亮仙
草加市	西願寺
草加市	小野塚純二
川越市	笠松猷一
東松山市	曹源寺
所沢市	金乗院
熊谷市	鈴木英全
千葉県	
千葉市	光明寺
市川市	大久保 均
市川市	(学)けや木学園
船橋市	菅野秀浩
佐倉市	加藤泰惇
成田市	成田山新勝寺
東京都	
千代田区	河村建夫
港区	(公社)日本仏教保育協会
港区	(公財)仏教伝道協会
台東区	長明寺
台東区	木内隆志
台東区	白川良行
台東区	田中昭徳
台東区	金龍山浅草寺
文京区	(株)はせがわ
文京区	真言宗豊山派宗務所
文京区	岩本一典
北区	興楽寺
北区	荒木寛信
北区	寿徳寺
足立区	藤井芳弘
足立区	西門寺
足立区	總持寺
葛飾区	滝沢幹雄
葛飾区	金蓮院
江戸川区	明福寺
江東区	眞尾 茂
品川区	常行寺
品川区	ペマギャルポ
大田区	市川智康
渋谷区	飯田順子
目黒区	千澤昭彦

目黒区	巖谷勝正
目黒区	澤 利明
世田谷区	正法寺
世田谷区	千葉真知子
世田谷区	妙壽寺
中野区	岡本照代
中野区	宝仙寺
杉並区	立正佼成会
杉並区	嶋田昌生
新宿区	玄國寺
豊島区	小山敬次郎
板橋区	平井和成
練馬区	高山久照
武蔵野市	月窓寺
三鷹市	耀 英一
調布市	光照寺
小平市	岡野昭
西東京市	小峰立丸
西東京市	淨心寺
立川市	岸田一雄
立川市	常楽院
立川市	伊藤真聰
八王子市	極楽寺
八王子市	善光寺
八王子市	関谷敷・正代
八王子市	不断院
八王子市	薬王院
町田市	大橋正明
昭島市	竹口甲三
あきる野市	執行晃弘
東大和市	三光院
神奈川県	
川崎市	川崎大師平間寺
川崎市	教安寺
川崎市	藤田隆乗
川崎市	斉藤正彦
川崎市	熊坂 正
川崎市	熊坂加代子
横浜市	金蔵院
横浜市	孝道山本仏殿
横浜市	歓成院
横浜市	向井眞一
横浜市	安養寺
横浜市	西有寺
横浜市	早島大英
横浜市	善光寺
横浜市	太田雍子
横須賀市	飯塚博道
横須賀市	川口卓男
鎌倉市	臨済宗円覚寺派
鎌倉市	大本山光明寺
新潟県	
上越市	小山長孝
福井県	
福井市	田中公潤
長野県	
上田市	近藤光俊
上田市	和田祐子
松本市	荻須眞教

塩尻市	青山喬視
松本市	倉科利行
山形村	宗福寺
原村	滝田 栄
岐阜県	
本巣市	慶円寺
高山市	大下大圓
多治見市	安養寺
静岡県	
沼津市	真楽寺
裾野市	(株)七栄
三島市	掬池晃雄
富士市	八木やち代
静岡市	松下純子
静岡市	中村康雅
焼津市	光心寺
磐田市	福王寺
愛知県	
岡崎市	大樹寺
刈谷市	長鷲秀雄
名古屋市	岸田幸子
名古屋市	勝崎幸夫
名古屋市	平田院
犬山市	寂光院
小牧市	薬師寺
三重県	
松阪市	樹敬寺
滋賀県	
大津市	天台宗務庁
草津市	佐々木昭道
京都府	
京都市	番地章夫
京都市	鞍馬寺
京都市	岸野亮淳
京都市	寂光院
京都市	大本山清浄華院
京都市	(一財)京都仏教会
京都市	上品蓮台寺
京都市	妙林寺
京都市	安田恭子
京都市	得淨明院
京都市	(株)安藤
京都市	雲林院宗碩
京都市	浅井光雲
京都市	泉涌寺
京都市	妙満寺
京都市	南禅寺
京都市	浄土宗西山禅林寺派
京都市	則竹秀南
京都市	霊雲院
京都市	伊藤哲雄
城陽市	北尾順彦
長岡京市	乗願寺
大阪府	
大阪市	NGO自敬寺
大阪市	弘昌寺
大阪市	辻村恵子
大阪市	大阪府佛教会
大阪市	稲垣佳子

大阪市	濱田友子
吹田市	藤尾明子
吹田市	栢座 信
高槻市	清蓮寺
大東市	祐照寺
東大阪市	川口敏子
八尾市	衣笠智恵子
和泉市	山本淳一
兵庫県	
神戸市	真言宗須磨寺派
神戸市	福祥寺
神戸市	磯村幹夫
宝塚市	友松悦子
宝塚市	田中 智
姫路市	河野太通
加東市	清水寺
奈良県	
奈良市	法華寺門跡
奈良市	唐招提寺
奈良市	安田暎胤
奈良市	荒井敦子
奈良市	森田由躬江
奈良市	矢野朋子
奈良市	中鷲 大
奈良市	三嶋 誠
奈良市	河野良文
奈良市	大安寺
奈良市	春日大社
奈良市	興福寺
奈良市	近畿日本ツーリスト㈱ 奈良支店
奈良市	神奈我良
奈良市	元興寺
奈良市	帯解寺
奈良市	薬師寺
奈良市	笹尾正道
奈良市	山崎英治
天理市	吉田明美
橿原市	杉山玲奈
大和郡山市	藤川保雄
王寺町	福井昭典
河合町	村上美紀子
鳥取県	
三朝町	米田陽子
島根県	
出雲市	一畑寺
益田市	松本祐二
岡山県	
倉敷市	圓乗院
美咲町	本山寺
広島県	
広島市	天部テルミ
山口県	
周南市	大野恭史
徳島県	
徳島市	(一社)徳島県仏教会
愛媛県	
松山市	寺川勲雄
今治市	野間寺

高知県	
高知市	花岡正寛
香美市	高竜寺
佐賀県	
基山町	吉祥寺
長崎県	
長崎市	別府節子
熊本県	
熊本市	鎮西学園
宮崎県	
都城市	佐々木鴻昭
鹿児島県	
鹿屋市	田中俊實

一般寄付	
……………10万円以上……………	
東京都	
目黒区	柴田紀子
静岡県	
静岡市	中村康雅
愛知県	
名古屋市	伊藤由紀子
……………	
埼玉県	
八潮市	菊池東実
千葉県	
千葉市	杉山優子
袖ヶ浦市	長嶋忠雄
東京都	
台東区	中 正宣
江東区	安孫子虔悦
目黒区	三和硝子(株)
目黒区	金住優佳里
世田谷区	大西幸男
豊島区	鈴木孝雄
豊島区	遠藤陽三
豊島区	小山敬次郎
国立市	増田英子
神奈川県	
横須賀市	逸見道郎
小田原市	天利俊元
岐阜県	
八百津町	大仙寺
静岡県	
浜松市	法光院
愛知県	
名古屋市	岸田幸子
名古屋市	宮野清恵
滋賀県	
野洲市	錦織寺

京都府	
京都市	伊藤唯眞
精華町	平松和子
大阪府	
和泉市	山本淳一
奈良県	
奈良市	長谷圭子
奈良市	矢野朋子
奈良市	北河原公慈
三郷町	植野忠治
鳥取県	
三朝町	米田陽子

菩提樹学園	
……………10万円以上……………	
東京都	東京恵比寿
渋谷区	ロータリークラブ
……………	
茨城県	
取手市	古屋吉雄
取手市	本願寺
栃木市	近龍寺
群馬県	
桐生市	祥雲寺
千葉県	
千葉市	杉山優子
習志野市	三原章夫
東京都	
港区	妹尾理恵
北区	寿徳寺
墨田区	大森寿美
江東区	子安一宏
目黒区	澤 利明
世田谷区	千葉真知子
新宿区	吉田日光
豊島区	鈴木孝雄
武蔵野市	月窓寺
府中市	山本晴康
立川市	常楽院
青梅市	小嶋次郎
神奈川県	
横浜市	安養寺
横須賀市	飯塚博道
伊勢原市	大谷三春
山梨県	
北杜市	横内亮子
長野県	
上田市	和田祐子
山形村	宗福寺

岐阜県	
本巣市	慶円寺
静岡県	
静岡市	實相寺
愛知県	
刈谷市	長嶋秀雄
名古屋市	岸田幸子
三重県	
紀北町	橋本武彦
京都府	
京都市	番地章夫
京都市	総本山妙満寺
長岡京市	乗願寺
木津川市	ポーレン敬芳
大阪府	
大阪市	橋野久子
吹田市	藤尾明子
兵庫県	
西宮市	後藤美恵子
宝塚市	友松悦子
奈良県	
奈良市	玉木康司
奈良市	中川恵子
奈良市	山崎英治
奈良市	三嶋 誠
愛媛県	
松山市	寺川勲雄
大分県	
大分市	吉野綾美

光明施療院	
……………10万円以上……………	
愛知県	(一財)森記念
名古屋市	製造技術研究財団
……………	
茨城県	
取手市	古屋吉雄
取手市	本願寺
栃木県	
栃木市	近龍寺
群馬県	晴方会いまい
前橋市	ウイメンズクリニック
前橋市	今井睦子
桐生市	祥雲寺
千葉県	
千葉市	佐藤孝夫
東京都	
文京区	永瀬富士子
北区	寿徳寺
墨田区	大森寿美

江東区	子安一宏
大田区	佐藤美帆子
世田谷区	千葉真知子
武蔵野市	月窓寺
府中市	山本晴康
立川市	常楽院
昭島市	竹口甲三
神奈川県	
横須賀市	飯塚博道
長野県	
上田市	和田祐子
松本市	荻須眞教
塩尻市	堀内文紀
山形村	宗福寺
岐阜県	
美濃市	小森智文
静岡県	
三島市	高橋久義
静岡市	實相寺
愛知県	
刈谷市	長嶋秀雄
名古屋市	岸田幸子
滋賀県	
東近江市	関 正見
京都府	
京都市	妙満寺
大阪府	
大阪市	板東義雄
吹田市	江崎道子
吹田市	藤尾明子
羽曳野市	祝原圭子
堺市	森下 綾
兵庫県	
西宮市	後藤美恵子
宝塚市	友松悦子
宝塚市	田中 智
奈良県	
奈良市	三嶋 誠
奈良市	圓照寺
奈良市	山崎英治
鳥取県	
三朝町	米田陽子
山口県	
周南市	大野恭史
長崎県	
長崎市	別府節子

仏教学東洋学研究所図書館	
東京都	
北区	寿徳寺

長野県	
松本市	荻須眞教
静岡県	
静岡市	實相寺
愛知県	
名古屋市	岸田幸子
京都府	
京都市	番地章夫
奈良県	
奈良市	矢野朋子

リサイクル募金	
群馬県	
渋川市	須田とみ子
埼玉県	
鶴ヶ島市	西宗弘子
入間市	嵯峨野(株)
千葉県	
千葉市	佐藤孝夫
東京都	
千代田区	北野譲治
北区	宮原照貫
墨田区	大森寿美
渋谷区	恵比寿ロータリ
	クラブ・ロータアクト
世田谷区	島村 徹
三鷹市	耀 英一
神奈川県	
藤沢市	久保清美
静岡県	
沼津市	横山きみ子
三島市	掬池洋子
京都府	
京都市	眞田由衣
大阪府	
大阪市	太田豊子
吹田市	歌枕直美
茨木市	萩原万紀子
堺市	大畑和紀
和泉市	栗生浩二
兵庫県	
西宮市	川崎佳子
奈良県	
奈良市	水島健一
奈良市	東大寺学園(国語科)
奈良市	齊藤正幸
河合町	朴 信明
大阪府	
東大阪市	太田豊子

ご芳名の掲示・感謝状の拝呈について

ご寄付を賜りました方々のへの感謝の意を表しまして、1万円以上のご寄付下さった方のご芳名を各施設に掲示させていただきます。また、10万円以上のご寄付くださった方に「感謝状」を拝呈させていただきます。





ご支援のお願い



当協会ではインド・ブッダガヤでの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、並びに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。「お釈迦様の聖跡を護る」活動や「ブッダガヤの子どもたちの明るい未来」のために、どうか皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆

・菩提樹学園年間ペアレントメンバー :10,000円 ・光明施療院サポート:10,000円

・園児1人の文具代3,000円

・1クラス(35名)分の給食代1,000円

プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。

Webサイトからクレジットカードでのご寄付も可能です。



▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

**(公財)国際仏教興隆協会へのご寄付・会費は、
税制上の優遇措置の対象となります。**

【個人様の場合】

「税額控除」又は「所得控除」の対象となります。

【法人様の場合】

損金算入が認められます。

遺言による
ご寄付

香典・御花料
からのご寄付

相続による
ご寄付



これらのご寄付には相続税がかかりません
詳しくはwebサイトをご確認ください

写経会・ご自宅写経のご案内

写経会へのご参加は、事前ご予約をお願いいたします。

また、ご自宅でお写経していただけるセットをお送りしております。HPには、法要、法話を掲載しております。どうぞご活用ください。

一文字ずつお経を書き写すことは、心の安らぎにつながります。

写経は、お釈迦様お悟りの地、ブッダガヤ大菩提寺での納経奉告後、日本寺に奉納申し上げます。

【写経会】2026年1月9日, 2月20日, 3月13日

月1回金曜日開催 18:00~20:00

【場所】祐天寺【納経料】2,000円(写経会・ご自宅写経共)

【お申込み】事務局まで、メール・お電話にてお申込みください。



(公財) 国際仏教興隆協会

Webサイト <https://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・Xも更新中



事務局より

日本寺ではご参拝時に本堂でご法要をお勤めいただけます。その際は、事前に下記事務所までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<https://www.ibba.jp/>